

秋の叙勲

長年にわたって各分野の進展に尽力。その功績が認められて平成24年秋の叙勲を受章したみなさんです。

旭日 単光章 元清和村議会議員 (故) 芹口 昭男さん (川口)

誠実で温情あふれる人柄から、地域住民から推され、1988年に清和村議員に初当選。2004年までの4期16年にわたって村議を務めました。その間、経済常任委員会委員長、総務建設常任委員会委員長、副議長を歴任、卓抜した政治力と行動力を発揮して、地方自治の発展と、文教・厚生 of 進展に大きく貢献しました。



旭日 双光章 元蘇陽町議会議員 中村 一男さん (滝上)

1964年9月に蘇陽町議員に初当選。以来1993年まで、6期25年にわたり町議を務めました。1987年から1989年までと、1992年から1993年までの、合わせて3年9ヶ月にわたり、議長を歴任。議会内の調整に努力し、町村議会制度の発展のために尽くしました。受章に当たり「支援してくれた地域の方々のおかげ」と喜びをかみしめていました。



旭日 単光章 元蘇陽町議会議員 立田 壽さん (塩原)

地元から推され、53歳で蘇陽町議員に初当選。1977年から1989年まで3期12年にわたって町議を務めました。その間、産業開発常任委員会副委員長や文教厚生常任委員などを歴任。基幹産業である農業生産基盤の近代化に貢献しました。受章に当たり「驚いた。在任中支えてくれた地域の方々のおかげです」と感謝しています。



熊日緑のリボン賞

堀 信雄さん (御所)

社会奉仕や環境美化などの活動に長年取り組む団体や個人に贈られる「熊日緑のリボン賞」。山都町から堀信雄さんが受賞しました。堀さんは、町内で行われる地域の祭や行事をビデオカメラで撮影。撮影した映像を自ら編集してDVDに。それを一昨年から町立図書館に寄贈しています。「町の歴史を一人でも多くの方に見てほしい。今後は町内の太鼓や劇団などを撮りたい」と、82歳となっても更に意欲を見せる堀さんです。



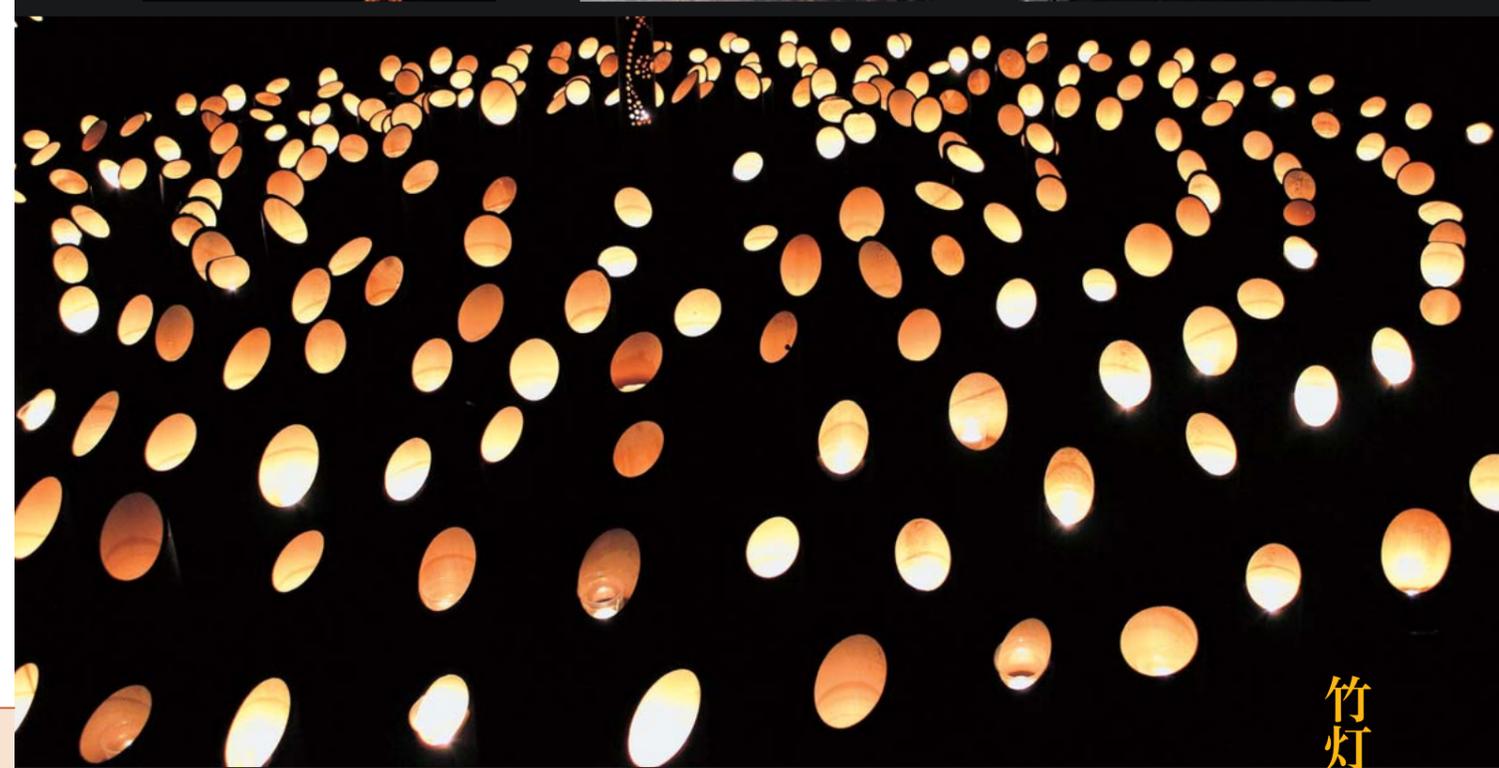
県援護事業功労者表彰

山都町遺族会会長 古閑 憲之さん (川野)

長年にわたり、戦没者遺族の援護・救済に尽力された古閑憲之さんが、蒲島郁夫県知事から表彰されました。古閑さんは、町戦没者遺族会会長として、2年に一度の慰霊祭の実施や、町内の慰霊碑・忠魂碑の清掃作業を続けてきました。古閑さんは郡遺族会副会長も務めています。受賞に当たり「とても栄誉なことで感激しています」と話しています。



男成神社の竹灯り



竹灯りで参拝客をおもてなし

2012年の大晦日から2013年元旦にかけて、男成神社の参道に竹灯籠が並び、そこからこぼれるやわらかな竹灯りが参道や境内を幻想的に彩りました。

これは、男成神社に初詣でに訪れる人々を幻想的な竹灯りで迎えようと、みたけ竹灯り実行委員会が企画したもので、今回初めての試みです。数本の竹を使い作成された灯籠2013個が、参道と境内に設置されました。灯籠制作には、実行委員会の方々をはじめ、御岳保育園全園児と、御岳小学校の全児童や保護者も協力。一人ひとりが特徴ある灯籠を制作し、境内に並べました。竹灯籠は、文字や飾りなどの細工が施してあり、準備に約2ヶ月を要したそうです。灯りとなるろうそくも4000個準備され、使用済み天ぷら油からつくったろうそく約1500個も含まれています。

12月31日午後8時、関係者や児童・園児と保護者が一斉に灯籠に火を入れると、周囲は、灯籠が放つオレンジ色の光で幻想的な空間に変わりました。

初詣でに訪れた人々は、参道からつづく幽玄な灯りに感動して、初詣でを終えると、境内の風景を写真に納めるなどしていました。実行委員会代表の飯屋幹治さんは「地域活性化のきっかけにと考えた。来年もぜひ実施したい。」と話しています。

写真提供・山都町観光協会 今村保幸氏